

京極町

1322 真壁佑輔

1. 京極町の概要と歴史

図1 京極町の町章

1.1 町名の由来

1938年、村の開基者である京極高德子爵所有の京極農場が開放されたことを記念して、1940年に京極村と改称されると、その後1962年5月1日に町制が施行され、京極町と改称された。



出典：京極町 HP

1.2 歴史

1897年、子爵京極高德が倶知安村ワッカタサップ番外地に未開地約800haの貸付を許可され、児玉忠廣を管理人とし、洞爺から藤村徳治ら5戸を招き開拓に着手。これが京極町開拓の始まりである。1910年に倶知安村から分離し、東倶知安村として独立。1923年には一級村制が施行される。1938年、京極農場が解放される。1940年に京極村と改称され、1962年に町制が施行された。1973年にふきだし公園環境緑地保護地区となり、1996年には水の郷百選に選ばれ、ふきだし湧水が有名な町である。

1.3 イメージキャラクター

1991年に、まちのイメージアップと知名度を高めるために、全国のアマチュアデザイナーを対象として、羊蹄のふきだし湧水のキャラクターを公募。その結果、全国から154点の応募があり、町内の小中学生の投票や、観光協会の役員会で選考。名前は町民から公募し、「覚えやすさ、親しみやすさ、かわいらしさ」などの理由から「ゆうくん・すいちゃん」に決まった。由来は「湧水（ゆうすい）」から来ている。

図2 イメージキャラクター



出典：京極町 HP

1.4 「日本で最も美しい村」連合

京極町は、「羊蹄山と農村風景」、「京極のふきだし湧水」を地域資源として日本で最も美しい村連合に加盟申請を行い、2008年10月7日に承認された。羊蹄山を背景とした雄大な景観、輪作体制を守り、景観緑肥などに取り組む農家の活動や、ふきだし公園周辺の整備と湧水口周辺の保全、湧水の飲料水や工業用水への利活用、名水にちなんだイベントや市街地形成など、「名水の里」としての町づくりとそれを実践する住民活動が認められた。

2. 地理・気候

2.1 地理

京極町は北海道西部、後志管内の北東部に位置し、周囲を山岳に囲まれた自然豊かな町である。倶知安町や赤井川村、喜茂別町などと接しており、羊蹄山の頂上ではニセコ町や真狩村と接している。また、中岳を挟んで札幌市南区と地理上は接しているものの、札幌市への直接アクセスは不可能である。東西 14.3km、南北 13.8km の総面積 231.61km² で、東経 140 度 43 分～140 度 3 分、北緯 42 度 48 分～42 度 58 分に位置する。大部分が丘陵起伏していて、平坦地は少ないが、尻別川の流域、及びその支流は概ね平坦である。

南西には羊蹄山があり、その麓にはふきだし公園がある。京極市街地はこのふきだし公園周辺に位置している。尻別川やベーベナイ川、ワッカタサップ川が主な川でベーベナイ川の上流に双葉ダムが設置されている。

図3 カントリーサイン



出典：北の道ナビ

図4 京極町の位置



出典：農林水産省 HP

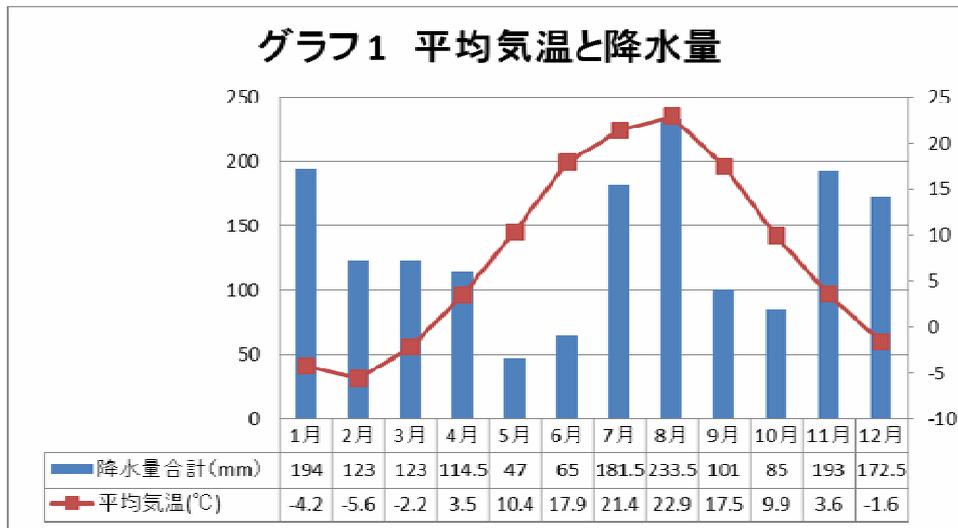
図5 京極町の位置



出典：京極町 HP

2.2 気候

京極町は年間平均気温 7℃、最高月平均気温 24.1℃、最低平均気温-12.2℃ で年間降水量 1,661mm である。最高気温は 32.9℃、最低気温は-19.2℃、最深降雪量は 216cm に達し、道内でも有数の豪雪地帯である。5 月、6 月は比較的降水量が少なく、8 月は降水量が年間を通じて一番高い上に、平均気温も一番高い。

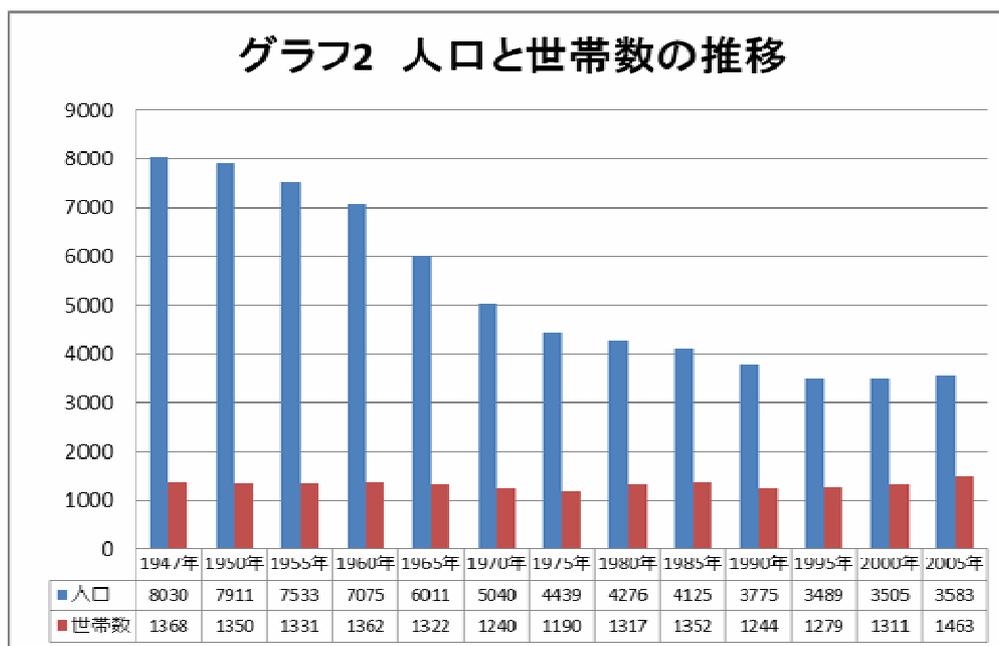


注) 気象庁 HP に京極町の気象データが無かったため、倶知安町の気象データを参考

出典：気象庁統計データより筆者作成

3. 京極町の人口と世帯数

国勢調査によれば、人口は1947年の8030人をピークに1995年まで減少を続け、その後は微弱ながら増加している。1995年の数は3489人で、ピーク時の半分以下となっている。世帯数は小さく増減を繰り返しており、人口が激減しているにもかかわらず、さほど減っていないことから1世帯当たりの人数が激減していることが推測できる。

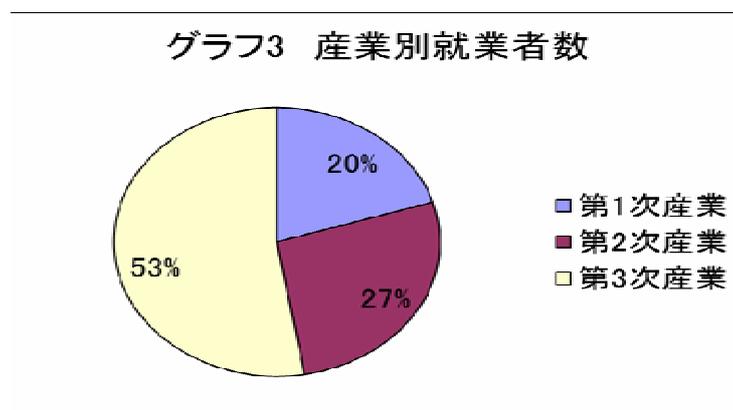


出典：国勢調査より筆者作成

4. 産業

4.1 京極町の産業

京極町は第3次産業の就業人口が最も高く、産業別人口で見ると、第1次産業の就業者数が397人で全体の20%、第2次産業就業者数が533人で全体の27%、第3次産業就業者数が1035人で全体の53%と第3次産業就業者数が半数を超えている。第1次産業は農業と林業、第2次産業は製造業、建設業、第3次産業は卸売業、小売業、運輸・通信などが挙げられる。産業別では農業が基幹産業となっている。



出典：農林水産省経済データより筆者作成

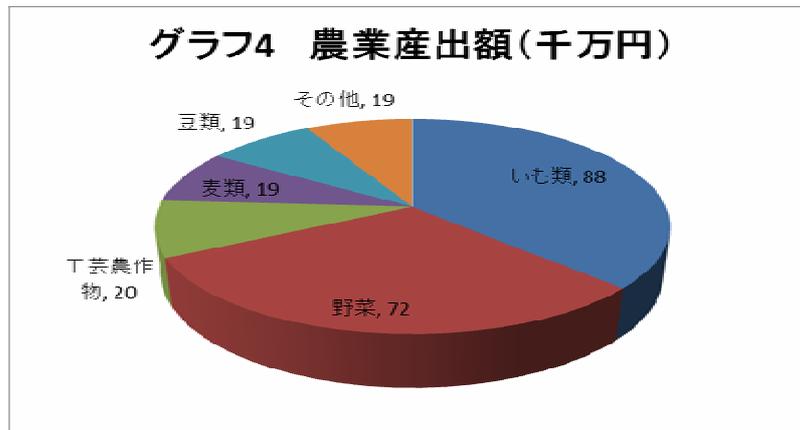
4.2 京極町の農業

京極町では主にジャガイモ（馬鈴薯）や小麦、大豆や小豆といった豆類が栽培されている。近年ではニンジンやタマネギなどの野菜を組み合わせ、経営が多角化している。

農家率は6.2%で、販売農家率は92%とほとんどが販売農家であり、農家数で見ると全体は112戸で、そのうち9戸が自給的農家、103戸が販売農家である。農家人口は男性が262人、女性が277人で合計539人であり、女性の方が若干ではあるが多くなっている。また、65歳以下の農家人口は男性が117人、女性が74人で合計191人で農家人口の35%しか居らず、農家が高齢化していることがわかる。

耕地面積は2540haで、田28ha、畑2510haと圧倒的に畑が広がっている。耕地率は11%である。作付面積の合計は2048haであり、それぞれの栽培面積は、馬鈴薯725ha、小麦294ha、ニンジン120ha、タマネギ18ha、大豆249ha、小豆222haである。馬鈴薯に関しては、北海道の中でも有数の生産地として知られており、市場から高い評価を得ている。

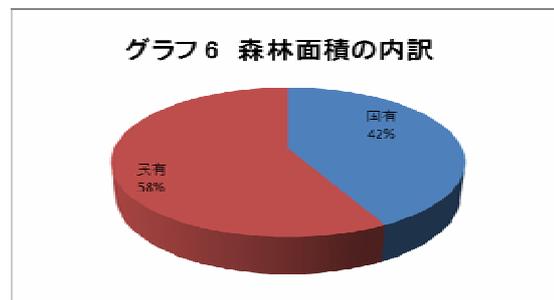
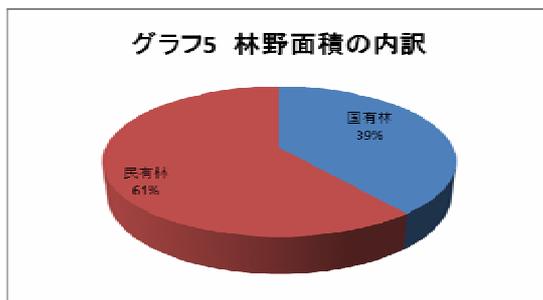
農業産出額では、いも類（主に馬鈴薯）が1位で全体の37%、2位が野菜で全体の30%と7割近くを馬鈴薯やニンジン、タマネギで占めていることがわかる。



出典：農林水産省農業データより筆者作成

4.3 京極町の林業

京極町では農業のほかに林業も行われている。農林水産省「2005年農林業センサス」によれば、京極町の林野面積合計は19509haで、国有林は7651haで全体の39%、民有林は11858haで全体の61%となっている。また森林計画による森林面積の合計は17346haであり、国有7338haで全体の42%、民有10008haで全体の58%である。

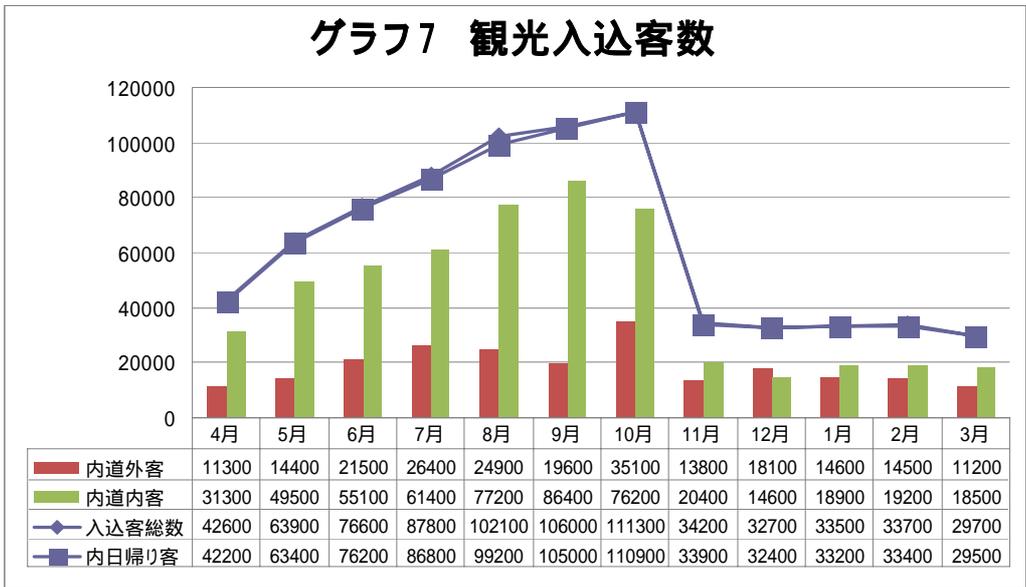


出典：農林水産省林業データより筆者作成

5. 観光

5.1 京極町の観光

春から秋にかけて観光客が多く、冬は豪雪地帯ということもあり観光客が激減している。グラフ7から入り込み客数と日帰り客数がほぼ一致していることがわかる。これは京極温泉のような日帰り入浴可能な温泉施設があるということもあり、京極町に寄っていくという程度の観光がほとんどであると推測できる。道内客が多いのは、京極町の「ふきだし公園」の水を飲料用や料理に使用していて、定期的に訪れている人がいるからである。他にも、キャンプ場やパークゴルフ場があり、パークゴルフ場は、ようていコース、ふきだしコース、そよかぜコース、せせらぎコースの4コースをオープンしている。



出典：北海道庁観光入込客数データより筆者作成

5.2 京極町の観光名所

5.2.1 ふきだし公園

京極町は「ふきだし公園」が有名で、ふきだし湧水は地元民からも愛されている。ふきだし湧水は、羊蹄山に降った雨や雪が数十年の歳月をかけて地下に浸透し、京極に湧き出した湧水である。夏も冬も絶え間なく湧出し、一年中多くの方に喜ばれている。

ふきだし湧水のデータとしては、1日の水量は約8万トン(約30万人の生活用水に相当) 水温は年間を通じて6.5 前後、硬度は平均20mg/lである。ふきだし湧水は1985年に全国名水百選に選ばれ、1990年に「暮らしを支える平成2年手づくり郷土賞建設省の自然の水30選」に選ばれた。

図6 ふきだし公園の四季



出典：京極町 HP

5.2.2 羊蹄山

羊蹄山は標高 1898m で、春は躍動感みなぎる新緑がわきたち、夏は緑鮮やかな姿が真っ青な空に悠々と見られる。赤や黄、色とりどりに染め上げられた木々に包まれ穏やかな秋を向かえ、冬には純白の衣をまとい凜然とたつ。4つの登山道があり、京極コースもその一つである。頂上を中心とする 7000ha は国立公園区域に指定され、9 合目付近の高山植物帯をはじめ、6 合目付近からのダケカンパやハイマツの森、山腹の原生林と四季を彩る鮮やかな自然が息づいている。高山植物が開花する 7 月から 8 月上旬、様々な衣をまとう秋まで登山を楽しむことができる。

図 7 羊蹄山



出典：京極町 HP

5.2.3 京極温泉

「ちょっと温泉にでも」と気軽に寄りたい日帰り温泉施設。絶景露天風呂では羊蹄山が目の前にそびえたち、夜は星空を楽しむことができる。他にも体の芯まで温まる天然温泉や羊蹄山の水を使った水風呂、ドライサウナ、石風呂という低温のお風呂もあり、充実した温泉施設となっている。

図 8 露天風呂



出典：京極町 HP

5.3 京極町のイベント

5.3.1 冬季町民レクリエーション

冬季町民レクリエーションのつどいでは、午前 8 時半の開会式から始まり、クロカン競技、アルペン競技、雪上パークゴルフ大会、雪上キックベース、ナイスコントロール、雪上ボーリング、ボール運び競争、スノーフラッグ大会を行う。午後にもちまきを行い終了する。小さな子供からお年寄りまで参加し、各競技を楽しんでいる。

図 9 冬季町民レクリエーションの風景



出典：京極町 HP

5.3.2 あったかいまつり

あったかいまつりは、雪まつりのようなもので、大雪像と記念撮影や雪と氷の滑り台、雪中フットサル、コオリングと呼ばれるカーリングのような遊びや雪積みピック、スコップ雪投げ選手権、雪中宝探し、もちまきといった内容で毎年行われている。

図 10 あったかいまつりの風景



出典：京極町 HP

* 参照 HP

- ・北海道庁 HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- ・農林水産省 HP : <http://www.maff.go.jp/>
- ・気象庁 HP : <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・総務省統計局 HP : <http://www.stat.go.jp/>
- ・北の道ナビ HP : <http://www.northern-road.jp/navi/index.htm>
- ・羊蹄まちしるべ研究塾 HP : <http://www.36guide-ikusei.net/>
- ・京極温泉 HP : <http://www.kyogokuonsen.com/>
- ・京極町 HP : <http://www.town-kyogoku.jp/>